

人

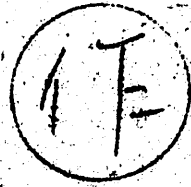
五 一四

受信一九〇五
譯始二一〇五

譯了二二一〇 電〇七一三八

航作概
本本〇

三〇根



三〇根 戰鬥概報着信艦所・先遣部隊尸
ヤツブ航空基地・四六警備隊・五航空艦隊尸

機密第一四一七五〇番電

當隊機密第一二一八四五二二番電

本文中左ノ通訂正ス

三、昨日ノ次ニ「十一日」ヲ挿入夜戰六〇五五五ノ次ニ「ヨリ一七
三〇」ヲ挿入ス。

通七九八七

呂一ロゾ一四一五七一〇(K)三通

宇津(林部)

昭和廿五年五月拾五日

人

五一四 受信二〇四〇 開始三一三〇〇 譯了二三五〇 電〇七一七三

昭和廿年五月拾五日
本
作
概

緊急

共

符



東通 第三航空艦隊 P
第一八戰隊 P
小笠原部隊 P

機密第一四一七五八番電

發 南島島守備部隊指揮官

着信者 横須賀鎮守府司令長官 軍令部次長 參謀次長

受報者 第一潜水隊司令 第七五二海軍航空隊司令

戰團機報 (五月十四日)

六(一)一三三五 B T 二 一機上空偵察

通八〇一六 呂一 B (一) 横須賀 村(吉)口 (一)



(回) 浮上潜水艦一隻 〇九五〇ヨリ約一〇分間及一一五五ヨリ約一〇分
 間ノ二回ニ互リ兩方三〇〇〇米附近ヲ同一隻一〇〇〇ヨリ約四
 〇分間西方二五〇〇〇米附近ヲ哨戒セリ計二隻ト認ム
 二發射撃數戰果被害ナシ

人

至急

五八一五
受信〇〇七四五〇八

譯了一〇五九 電〇七三八〇

航作機本〇

昭和廿年五月拾五日

東通・聯合艦隊口

高警 P

海上護衛總口・第一航空艦隊口・海南警
南西方面艦隊・第二遣支艦隊口・支那方面艦隊
臺灣空・馬公根・高雄根・基隆防備隊・高雄警

機密第一四一八〇〇番電

五月十三日敵機來襲狀況

一〇七五〇ヨリ一六三〇迄 B1二四 B1二五各一機臺灣一周哨戒淡水

港新竹附近ニテ舟艇等銃撃撃雨下ス他ニ B1二五 P B四 Y 各一機

臺中臺南西方洋上哨戒 P1三八 因後高雄臺東地區ニ侵入舟艇撃攻

撃シ南下ス

三二一四〇ヨリ十四日〇三三〇ノ間 B1二四 二機不明一機西海岸北

上淡水港西北方洋上行動内一機新竹西方海岸ニ照明彈焼夷彈投下南

通八二一一 呂一Bトケサ五 (四五七二五九) 高二放 角(阿波)

366

下ス

三被害海軍側大發一雙沈沒戰死一負傷二 陸軍側トラツク三臺ハス
 五炎上戦死一民間側機關車二貨車客車各五炎上破壊小型舟一雙
 沈沒他ニ民家人員ニ若干被害アリ

五
一五四 受信開始 〇二二三八〇
丁一〇一〇 〇七三六〇
作 本稿



千島防備部隊戦艦機銃着信磁所

千島根

機密第一四一八〇三番 二分ノ一

千防艦機銃第一二一號（五月十四日）

一〇六四六カゲノマ右岸ノ五〇度東薩ノ間西部敵機來襲〇六二五

B-1二四 二機最上山阿勢峴延北部薩ノ間専ラ附近偵察後薩ノ

間南方海面ニ爆弾約七發投下〇六五〇東方ニ遊退ス。

（電信課註 本電二分ノ二 既配布）

（東京 通註 本電誤字極メテ多シ）

通八〇三九 天三乙B（四〇七五九）占守 石井（上野）

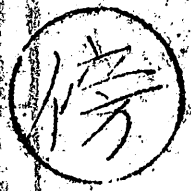
昭和廿年五月拾六日

367

昭和廿年五月拾四日

五一四 受信二〇三〇六 了〇一〇〇 電〇七一四八 航作機 本〇
368

大村航空基地



第一援助基地航空部隊 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐

三四三空戦闘機群 (五月十四日)

一〇六〇〇 紫電二〇 機發進九州南部及東部ヲ稍戒セルモ會敵セズ

〇九三〇迄ニ全機歸着

一三四五紫電一三機發進一四三〇鹿島方面稍戒中 六 三二機

一四〇位ニテ會敵鹿兒島出水ノ間ニ於テ交戦一七〇〇迄ニ

一二機歸着

戰果 紫電 六 一 機 四 一 機 被奪未歸還一機

通 八〇八七 口一Bヶ一一(三九三七)五KC(一KFGB放 高橋(春 日)

至急
 五 一五 受信一四一六 譯始二一〇五
 二一五八 電〇七五五九 牒 通

支那方面 臨沂口・嶺口・青島・旅順各線
 東 通・佐 通

機密第一四一九三一番電

左記情況ヨリ北部基地ヨリノ敵機出撃活潑化ヲ豫想セラル北支方面特

ニ嚴戒ノ要アリ

一 一日以來昆明ヨリ西安ニ約B1二四 十元機B1二五 六機進出

二 北部方面 前進基地ニP1三八相當數ヲ進出セシメ偵察ヲ強化シ

アリ

三 芷江方面緊急輸送ノ爲北部基地ヨリ轉用セラレアリ

復歸ス西安安康ニ對スル補給活潑化シアリ
 四 北部方面米空軍並ニ重慶空軍通信活潑ナリ

通八三六〇 呂一B小十一 (一四九三〇) 上陸 常州 (復村)

昭和廿五年五月拾六日

五 一四 受信二一五〇〇 譯了二三五五 電〇七一七六 謀 通

緊急

印度特情報着信艦所。？。？

機密第一四二〇〇七番電

左チ綜合スルニ敵機動部隊ニ對シ警戒ヲ要アリト認ム

(一) コロンボ送信作戰緊急電十一日以降活潑ニシテカイニコバル方面ニ

發見トル部隊ト認メラルルモノノ外ニロン島並ニビルマ方面ヨリ

出擊中ノ疑アル部隊アリ三者ト關聯密接ナリ

(二) 十日以降印度洋方面ニ出現並ニ對潜水艦指令電活潑ナリ。

通八〇五九 天二Bケ六一七五九〇KC一〇通 中野(新井)

人

五 一五 受信開始 〇〇四一三 譯了 〇一三 電 〇七一四四 航作 概本

緊急



● 九〇一空 (大村航空基地)

● 七尾航空基地、糠松航空基地

● 九〇一空 (博多航空基地)

機密第一四二〇一六番電

宛 第九〇一航空隊柴田主計大尉

飛行機隊ハ十五日基地員ハ十六日小松航空基地ニ轉進ノ豫定ニ付宿泊
其ノ他準備ヲナシ置ケ

通八一〇七 呂一四ケニ一 (佐世達) 加賀 (様) 澤 (

昭和廿年五月拾四日

371

五 一五

受信開始 〇〇八二一五

譯了 〇九三〇

電 〇七三九一

作機 〇
水路 東
在路

昭和廿年五月拾六日

作

◎ 新潟港 警備隊

◎ 海上護衛總口。舞鏡口。舞鏡海面防備部隊指揮官

◎ 一〇五 戰隊

機密第一四二〇四四番電

一〇五 戰隊 機密第一四一〇〇〇 番電 作成 替舞鶴護衛部隊 電令 作第二號

一 新潟港 敵の沖に 機氣機雷ヲ敷設セリ

二 新潟港 警備隊司令ハ 第一五三號 第一五七號 驅潛特務艇ヲ指揮速ニ

出入港水路 啓スベシ (新潟港 突堤端 燈臺ノ〇度ヲ中心トスル 八二

五〇米水深 六〇米迄)

三 爾後ノ掃海ハ 追テ令ス。

通八一六二 天二Bケ十一 (舞通) 久保田 (小澤晴)

五一五 受信始 〇〇七五五〇〇

譯了 〇八五〇 電 〇七三三二

參作 本機

一 二 航 戰



東京通信隊。鹿屋空基地。佐通。戦闘概報

機密第一四二〇四六番電

多基地戦闘概報第十三號（十四日）

十三日一〇二〇ヨリ約三〇分間敵艦上機ノ攻撃（約七機）ヲ受ク

一十一空廠補給工場煮炊所一棟全焼十四日〇六四〇ヨリ約十分間

六F・SB二〇計約三〇機來襲主トシテ雁ノ巢飛行場ヲ攻撃セ

通八二二五 呂一Bケ一（三七三〇KC）佐通 森（細川）

昭和廿年五月拾六日

373

五 一五 受信〇〇三三〇
譯始〇六五一

譯了〇八一二 電〇七三一六

參作 本稿

緊急

二 六 根 P



二六根戰團概報着信艦所・三南遣艦隊P・鎮守P

機密第一四二一〇三番電

六KB戰團概報十四日

一〇七〇〇單發二機カウ灣制壓戰果被害ナシ

ニタルハ出港驅逐艦三針路北入港驅逐艦二輸送船大型一小型一碇泊

一四〇〇輸送船大型十九中型七小型七大型油槽船一病院船一驅逐

艦十五驅潜艇三海上トラツク二四魚雷艇九上陸用舟艇大型五二普

通三一

三、ロ夕イ發進機針路北乃至西大型十三中型九小型三六計五八

四、十二日夜陸軍大發二海軍大發二ロ夕イ突入ニ成功人員物件全部

揚搭完了歸途陸軍大發一行衛不明一ハルマヘラ島着後魚雷艇飛行

通八一七八 呂一Bラ一八(六一二二二、五〇)二一通 清水(小澤)

昭和廿年五月拾五日

2185



機ノ攻撃ヲ受ケ炎上海軍大發一三ロ夕イ島ニテ坐礁殘艦一魚雷艇ト交戦炎上行衛不明准士官一頭傷准士官一下士官一。

(二)

人

作

五一五

電信始 〇〇七五〇九

丁一 一三七 〇七三 七二

軍航作 〇
需本

昭和十年五月拾六日

河和空

軍需局・横領口・第二燃料廠

二〇 聯空

375

機密第一四二二三六番電

第二十聯合航空隊通信令第一四號

第一河和航空隊司令、左に依り人員ヲ第二燃料廠ニ派遣同廠長ノ

命ヲ受テ緊急疎開及防護工事ニ從事セシムベシ

一、派遣人員下士官兵約一五〇名ハ適當ナル准士官以上ノ監督者ヲ

附ス

二、期間約一箇月

三、詳細ニ關シテハ、派遣先派遣元間協議スルモノトス。

通八一八一 白一Bケ十一ハ 横通 高橋(上野)

至 急

五 一 五 号信 〇〇八五五六 了 一 一 四 〇 電 〇 七 四 一 四

航 作 本 〇 昭和廿年五月拾六日



九五一空各派遣隊

九五一空

旅順根・上根▽。九〇一空▽。海上護衛部隊指揮官・支那方面艦隊口

七艦隊各口・青根▽。佐領口。中菲空

機密第一四二一五〇番電

二分

一九五一空 緬海、濟州島、旅順、群山、青島、博多各、派遣隊、人員
益々減少、現狀、艦指示、度各派遣隊附九〇一空二(五語受信
附) 舟山島各派遣隊兵力、東海水偵戰團各一二機(以内)。

電信課註 本電二分ノ二既配布

通八二二七

天二B

六(B

) G H 有給

中井(金子)



緊

五
一
五

受信
始〇〇三五六
四三三

了〇五二〇
電〇七七八九

航作機
本〇

昭和廿五年五月拾六日

◎ 大村航空基地（九〇一空）

◎ 九〇一空・博多、領海、郡山、旅順、青島
◎ 濟州島各航空基地

◎ 海護總各口・一護艦隊口・旅順、青島各特根
◎ 佐領口・領警口

機密第一五〇〇〇〇番電 二分ノ一

第九〇一航空隊電令作第四九號

一、五月十五日附當隊ニ新編入ノ各隊ハ何分ノ命アル迄現任務ヲ續行ス
ベシ

二、博多派遣隊兵力ノ零機三機（舊九五一航空隊兵力）及關係基地員ハ
成ルベク速ニ領海ニ復歸スベシ

三、領海派遣隊指揮官ハ零機六機ヲ

（電信課註 本電二分ノ二既配布）

通八一九一 呂一Bケ十一（四九一五K）（二二改 本尾ノ山山島）

昭和廿五年五月拾八日

五一七 受信一七三〇〇 譯了一九〇〇 電〇八六四四 作 稿〇

至 急

上海 根

厦 門 根

378

機密第一五〇九五六番電 二分ノ一

貴機密第一四一二二番電返

下島 浮流山 跨山 定海灣 白犬島 興化 水道 甬州 浦厦門 港 埕港 牛耳

島 風切 鼻列島 銅山 灣南 澎高島 南澳島

二 晝間ハ 船員 陸上ニ 待避セバ 賊機ニ 依ル 被害 局限セラル

三 敵機 來攻 狀況

電信 譯註 本電 二分ノ二 既配布

通九六〇一 百一B分十一(B) 横通 長谷川(坂田)

昭和廿年五月拾八日

五 一七 受信一三四五 譯始一六二〇 譯了一八〇〇 電〇八六一六 作概〇

至 急

上海 根

厦

門

根

△



【通報表示】 軍務局・横防・横鎮口

機密第一五〇九五六番電

二分ノ二

B124 → 機密一〇〇〇ヨリ一五〇〇頃迄及夜間ハ二三〇〇ヨリ

〇二〇〇頃迄毎日必ズ哨戒

四 最近當地區ハ附近ノ支那ジャンクヲモ攻撃セシ算ナリ

五 本計畫ハ成功ノ算極メテ小之ガ強行ハ考慮ヲ要アリ

（電信課註 本電二分ノ一未着）

通九六〇二 呂一Bケ十一 B 横須賀 角 阿波

長

局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
A	B	C	D	E	F	G	H
東	東	東	東	東	東	東	東
通	通	通	通	通	通	通	通
赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂
永井	永井	永井	永井	永井	永井	永井	永井
横	横	横	横	横	横	横	横
通	通	通	通	通	通	通	通

五 一五 受信一五二〇 譯了一八四五 電自〇七六七二 補股 〇

南島島警備隊

着信者 大本營海軍戦力補給部長
五月十五日現状左記ノ通 受報者 横須賀軍需部長 横須賀連輸部長
横須賀軍需部長 横須賀連輸部長
第十六潜水隊司令

一 現在員三二〇四名

二 (1) 主食節約米殆ト盡キ近ク波號ノ補給ヲ受クトモ六月中旬迄ヲ維持シ得ルノミ糧食補給ニ關シテハ詳細書類ニテ提出準備シ居ルモ便ナキ爲未ダ進達ニ至ラズ引續キ伊號ニテ補給ノゴトニ取計ヲ得度

(2) 副食 獸魚肉ナン 乾物 罐詰野菜 ナシ 鹽 四月半 醬油 二月半 砂糖 味噌
通 八三三 八三三 八三三 八三三 八三三 八三三 八三三 八三三
八三九 八三九 八三九 八三九 八三九 八三九 八三九 八三九
呂一Bケ十一 (B) 横通
秋葉 (川崎)
中里

昭和廿年五月拾六日

380

各ナシ其ノ他調味品ナシ

(三) 空揮 (九一) 二三・二好 (八七) ナシ 二號塊炭 三二 三號塊炭 ナシ

三 機銃彈藥 (銃數)

(イ) 二五耗 三七三・九八六 (六七挺)

(ロ) 一三耗 一八七・八七六 (二一挺)

(ハ) 九二式重機關銃 一七・一六二 (四挺) 九二式七耗七機銃 二二一

二二七 (二二挺) 九九式輕機銃 〇・一一挺

四 特ニ緊急補充ヲ得度モノ糧食彈藥 (一二二 纏七高射砲) (一二二 纏七 砲推進機ヲ製層成帶五組)

昭和廿年五月拾六日

五 一五 受信一三一五 電一五五五 電七四七三 航本
至 急 開始一四三〇 電一五五五 電一四七三 航本

34

東 通

各館、各警各尸、五航空隊隊長、各館、各警各尸、五航空隊隊長、各館、各警各尸、五航空隊隊長

大甲 総長 G B 長官

佐藤野園樹報(五月十四日)

一 グラマン一六機一〇二〇美々津附近且及侵入態を察之

七 大村基地ニ來襲投擲

二 長崎港外航行船舶攻撃ノ後一三三〇野母塔一〇五佐多野ヲ襲撃

テ東ニ脱去ス野具ナシ檢査飛行機三機悉く燃焼破壊警報

【電信調註 本報一分ノ二未着】

通八三四一 呂一日八(九八三〇)佐三旅一梅村(小澤)

人

五
一六
受信二二五〇
開始〇〇三〇
丁〇一五〇
〇七八三七
作訓



東
通
對海軍校(杉本)・航空(杉本)

機密第一五一七二一發
二分ノ一

第七艦隊戰訓通報第二號

敵ノ機雷戰力船舶ノ運航ニ甚大ナル影響ヲ及ボシツツアル處探測ニ
依ル磁氣音機雷ノ掃海ハ深淺小ニシテ水塔ノ遠急發上間ニ合ハ
ザルノミヤラズ悉掃掃艇ニテハ

(通信誤謬 本頁二分ノ二未着)

通八六二九 呂二B 十一(三七二一) 杉本
通 杉本(杉本)

2194

昭和廿五年五月拾六日

A

五一六

受信開始 〇四二〇〇

了 〇五一〇 電 〇七八三六 作 概

昭和五年五月拾六日



海上護衛總口・吳鎮口

門司在勤武官

吳防戦・佐伯防備隊・七艦隊各

通報第一船機密第一五一七三二番 二分ノ二

今出直撃ニ依リ沈没戦死二重傷一

三十四日一一〇〇頃商船一姫島北方ニテ敵戦艦機一撃墜搭乗員落下

金ニテ降下セルモ敵水上機着水救出ノ上遁走セリ(パイカル丸救離員報)

電信課註 本電二分ノ一未着

通八七一四 天二日ケ一一(二五五七・五四)横通

日高(盧田)

人

五、一六

受信開始 〇〇五〇二六

譯了 〇八五四 〇七九一五

昭和四年五月拾七日

至急

二二根

384

作

二二根 戰團 統報 着信 處所

機密第一五一六四〇番電

FRB 戰團 統報 五月十五日

一〇四五ヨリ P三八 二機北東ヨリ「バリツクバパン」地區ニ侵

入第二飛行場上空附近偵察一一四 西南方ニ之ヲ擊退戰果被害ナ

シ

三一―二九ヨリ B―二四 六機二編隊ニテ「バリツクバパン」地區

ニグラマン五機第一飛行場ト「ラデン」見張所中間附近ニ投擲

(六〇發) 一一五四北東ニ飛走セリ戰果被害ナシ

通入六六〇 呂一Bヲ十八 (六一二二・五) (二二) 鈴木(渡瀬)

人

5

五
一六五 受備二〇一九 一六四一三二〇 電〇七九二九 航作概本〇

六
一六五 開始二〇一五

至 命

● 豊 橋 航 空 隊

作

● 航空本部・一航空艦隊口・三航空艦隊口・一〇航空艦隊口

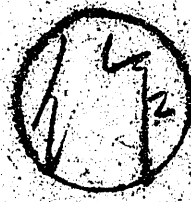
機密第一五一六四六番電

五月十一日當方面空襲警報ニ依リ小松基地ニ避退中ノ當隊九六式陸攻
 一機天候不良ノ爲熊野灘方面ヲ飛行中三木埼ノ一〇〇度三湮ニ於テ一
 〇一〇B―二四 一機ト交戦シ被弾同海面ニ不時着搭乗員二名戦死ス
 尙 當時ノ交戦高度四〇〇米ニシテ最近同方面ニ、連日日―二四ノ出
 没ヲ認ム。

〔京通誌 本電着信着ニ就本追加ノ爲處理〕
 通八八八一 呂一〇ケ一―(三九八五K)七P.G.放 角(増田)

昭和廿年五月拾七日

人



五 一 六

受傳 〇〇三二四
開始 〇六〇〇〇

了 一 二 〇 〇 電 〇 七 九 三 八

二作 技 廠訓

共 符

東

通

對海陸空 (橫通) 空 (橫通)

機密第一五七七二番電 二分ノ二

海軍事務局 大海參 艦本 海護總司令部 二技廠

關門方面風速一二米ニシテ掃海出來メ機雷戰ノ激烈化ニ伴ヒ掃海速度ノ發揚ヲ益々必要トスル際松ケ下鋪地ヨリ強力磁力線又ハ探信波ヲ發射掃海スル方法ヲ速ニ實用化最緊要ト認ム。

一電信課註 本電二分ノ一既配布

海八七匹九 呂一四々十一 (二五五七、五七) (橫通) 大塚 (五 真)

昭和廿年五月拾七日

五 一五 受信一八四五
詳始二〇四五

詳了二二〇三 電〇七五八八

昭和廿年五月拾六日
航作 本〇



● 木更津滅空基地
● 横 通

機務第一五一七三九番電

發 兩島島警備隊司令
宛 七五二空司令

第二次突撃隊長 横須賀鎮守府參謀長

連日本島右岸ハ二島乃至三萬米ニ出沒スル洋上潜水部隊制壓ノ爲來
島スル降攻ニ二五番投下器ハ爆雷共ニ裝備★シラレ度爆彈ハ當基地

ニアリ
東通証 通報ヲ作成將ト認ム
一五一一 出ニケ一 (五一〇) (七) ? 村尾 (木 下)

昭和廿年五月拾六日

五 一一五 受信二〇三二
一六五 譯始〇〇三二
譯了〇一〇九 電〇七六四九 作 機

至 急 佐 領 戸



佐 領 各 部 隊 指 揮 官
海軍總隊口・海護總部隊指揮官・大海參一部

機密第一五一七五〇番電

一 P B M 二機十五日〇九四九男女群島ノ一〇〇度三六湮ヨリ一〇二
 二 大瀬崎ノ三二〇度三二湮ヲ經一〇五〇對馬南端ニ至リ機帆船一
 隻ヲ銃依撃ノ後一一四八壹岐附近ヲ經一二二九宇久島附近ニ來襲
 セリ

三 邀撃ノ爲發進セル三四三空戰團機三機一二二九宇久島西方二湮ニ
 於テ之ヲ捕捉攻撃二機共墜セリ

三 被害自爆一機不時着一機機帆船一隻航行不能。

八五五三 呂一Bケ十一(四九一五KG) 佐二放 垣野(上野)

昭和廿五年五月拾七日

五 一五 受信 〇七五〇 譯始 〇七一七〇 丁一〇五八 電 〇七九〇三 航作 本 〇



先遣部隊P・五航空艦隊P・三〇夜戰團概報着信處所
ヤツブ航空基地・四六警

機密第一五一八〇七番電 二分ノ一

第三〇根據地隊戰況概報（五月十五日）

一 P P 附近行動敵艦船當隊機密第一五一八〇七番電ノ船團ハ一五〇〇

六〇度水平線ニ没ス尙該艦團外ニ送船ヲ（七十噸級滿載）コスソル水

動入港輸送船一（八千噸級滿載）コスソル水道出港一〇〇大型輸送

船一 P P P 發東進

三 視界内敵艦艇碇泊状況

(イ) コスソル水道大丁六中丁一 小丁二 大型油槽船二 小艦艇九
道八八一 一電信 呂一 注 本電二 分ノ一 五七一〇 KC 三通 清水（土 谷）

昭和十年五月拾六日

五 一五 譯始〇一三三七 譯了〇二三五 電〇七六六〇九 參作 本概

横 銀 戸



横銀戰團概報着信録所

機密第一五一八二〇番電 二分、一二

横銀戰團概報 (五月十四日)

一、B-I二九約四〇〇機〇七三〇倍ヨリ十數編隊ニ分シ逐次熊野灘紀伊水道ヨリ侵入名古屋市街地ヲ爆撃後〇九四六迄ニ遠州灘附近ヨリ脱去セ

二、交戦状況 西警備地區所在防空砲臺之ヲ攻撃鐵砲戰團機發進セズ

三、戦果 鐵砲一機 (一ノ宮砲臺) 撃破一三機 (大恩寺山砲臺) (内三機

撃ノ算大ナリ) 四機 (豊川砲臺) 一機 (三重村砲臺) 計一八機ナリ

四、被害ナシ

通 八八六四二〇

呂一B々十一 (B) (横通)

藍灣 (新井)

2202

昭和廿年五月拾七日

五 一六 受信二〇七四六 了二一四〇 電八二四四 作 概

支那方面艦隊中

總長。上根、青根、揚子江方面部隊

機密第一五二八五番電 二分の一

揚子江方面部隊戰鬥概報第一號

一、六三日〇七三八P一五一 四機南京ニ來襲。被害、シ 戰具一機燬

吐カシム

二十三日一二三四P一五一 四機九江ニ來襲在泊艦船及棧橋ヲ銃爆撃

被害下士官一名戰死(海軍)一兵一名輕傷(陸軍)

一電信課註 本電二分の一既配布

通カ〇八〇 天二、Bケ十一、一四九三〇KC 上海 大田(五、島)

9

方 一六 受信始〇六二四〇 開了〇九一一 電〇七八七七 作 概



其、他被害輕微

十三日二三〇〇〇二四 (機數不明) 飛行トソコウ附近ニ機雷投下

揚根ハ之ヲ十四日五箇 (振動型) 處分

十四日二二三〇〇二四 二機乃至三機飛翔十五日四箇 (振動型) 處分。

處分。

電信課註 本電二分、一未着

通八七九二 天一〇ケ十一 (七四六五K) 上陸 關根 (松山)

2204

昭和五年五月拾七日

Y (e)

至急
一機動基地航空部隊天驕作戰部隊作戰命令着信監所
大村 航空基地

五
一五 受信二二一六 譯了〇一三五 電〇七六二九 作
一六 譯始〇〇三五

393

作

機密第一五一九〇〇番電

九一七空戰團概報(五月十五日)一二〇〇紫電六機發進宇久島西方海面ニ於テPBM-1一飛行艇二機ヲ捕捉攻撃一五〇〇迄ニ三機歸還發動機故障ニ依リ現地志岐海岸ニ不時着(搭乗員無事)一機歸途悪天候ニ依リ出水上空以降消息不明ノモノ一機アリ戦果甚盛PBM-1一機被害自爆一機被弾一機(搭乗員中傷)

通八六〇八 呂一五七十一(四九一五KC)佐二放 中田(川崎)

昭和廿年五月拾六日

五
一
五

電〇七九二五

災
東
本
海

昭和廿年五月拾七日

海上護衛總部隊
共符

大海參一部・軍務局・運本・參本・海運總監部。
海軍總隊口。支那方面艦隊口。六艦隊口。三一戰隊口。
第一總軍司令部

宛 船舶司令部 第一總軍司令部
機密第一總軍司令部
機雷情報第三三號
一九四三番電 三分ノ一、二三

(一) 一四日〇〇二〇頃ヨリ〇一〇〇頃迄ノ間、一二九ノ宇部岬沖ニ相
當多數ノ機雷ヲ投下セシモノノ如シ。右ノ内龜ヶ瀬燈臺ヨリ本山
桂燈洋標間ニ投下ヲ確認セルモノ三個
目 一三日小豆島地藏崎ノ南方一軒及一一八度三軒(孰レモ常用航路
附近ニテ 雷セル艦船アリ)

目 一三日開門西口白洲燈臺ノ二二六度三・三湮及三・六湮附近ニテ

機雷各一個自爆セリ。敵機ハ同方面ニモ機雷ヲ投下セシモノノ如シ
二二七七八二二〇八 天二ガ一一

(四) 一三日五十二九 一機豊後水道日振島南西方一六軒附近横島附近海

面ニ機雷ヲ投下セシモノノ如シ

(田) 新潟飛行機臺ノ三湊圏内及佐渡島彈崎ノ二湊圏内航行禁止。